



第8回 市内遺跡発掘調査 成果展 開催

きたる7月27日(土)から8月4日(日)
まで郡山市民文化センターにおいて「郡山市内遺跡発掘調査成果展」

を開催します。平成13年度に発掘した出土品の展示と、収蔵品の中から、古墳時代の資料をピックアップした企画展「郡山の古墳時代」を同時に開催します。

また、7月28日(日)には記念講演に福島県考古学会副会長の馬目順一先生をお迎えし、古墳時代の日本と韓国の文化を比較したお話をあります。皆様のご参加をお待ちしています。

体験コーナーもあるよ



まがたま
勾玉もつくれるヨ!



もちろん縄文土器
の拓本もとれるヨ!



石器で紙も切れるヨ!



第8回 市内遺跡発掘調査成果展

記念講演
「古代の黄金モード—日韓文化の特異性—」
講師／福島県考古学会 副会長 馬目 順一先生
日時／平成14年7月28日(日)午後1時～2時30分

調査報告会
平成13年度発掘調査遺跡の報告
日時／平成14年7月28日(日)午後2時40分～4時

会場
郡山市民文化センター5階集会室

平成14年7月27日土～8月4日日

午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）※7月29日㈪は休館日です。

展示会場 ■ 郡山市民文化センター1階 展示室

主催／郡山市教育委員会
共催／財団法人郡山市埋蔵文化財発掘調査事業団

入場無料

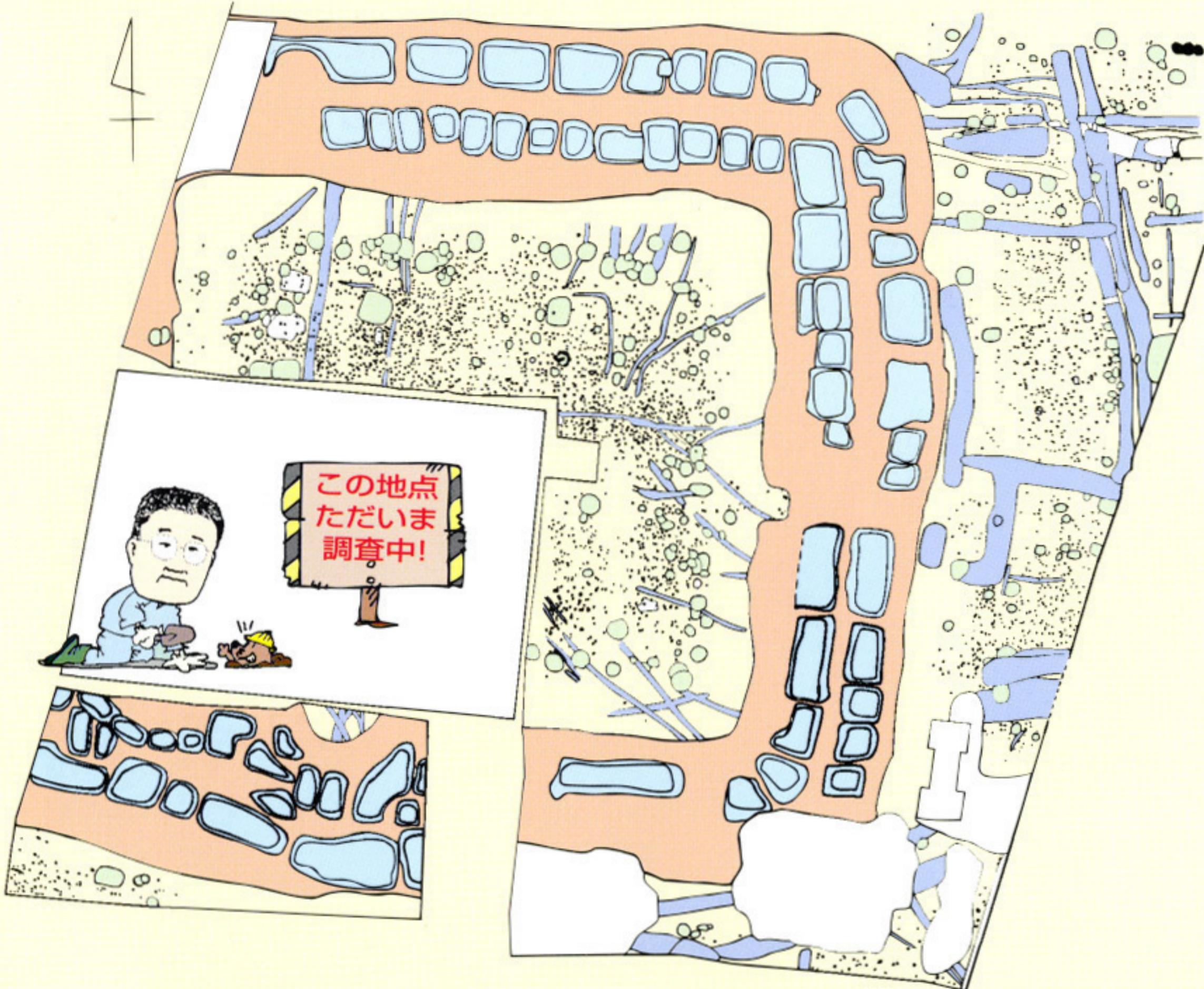
(お問い合わせ) 郡山市教育委員会文化課 (024) 924-2961

やかた 姿を現した中世の館 そして町と道。

平成8年から発掘調査が進められている郡山市安積町の荒井猫田遺跡で、中世の館や町・道などがみつかりました。館は2つあり、つかわれていた時代に違いのあることがわかつてきました。遺跡の南側でみつかった館Aは13～14世紀、北側でみつかった館Bは14～16世紀頃につかわれていたようです。

町や道は南側の館Aに隣接し、この館と町・道とが密接な関係にあったことがわかります。道は4つあります。そのうちの2つが十字に交差する場所を中心にして、南北に町が広がっているようです。南北に続く道は、鎌倉時代の「奥大道」ではないかとされています。

北側の館Bは、現在も発掘調査が行われています。館の中心である主郭は、立派な障子堀によって囲まれています。そして主郭からは、掘立柱建物や井戸などが数多くみつかっています。2つある館の関係、館の主人や館そのものの機能を解明することが今後の課題です。



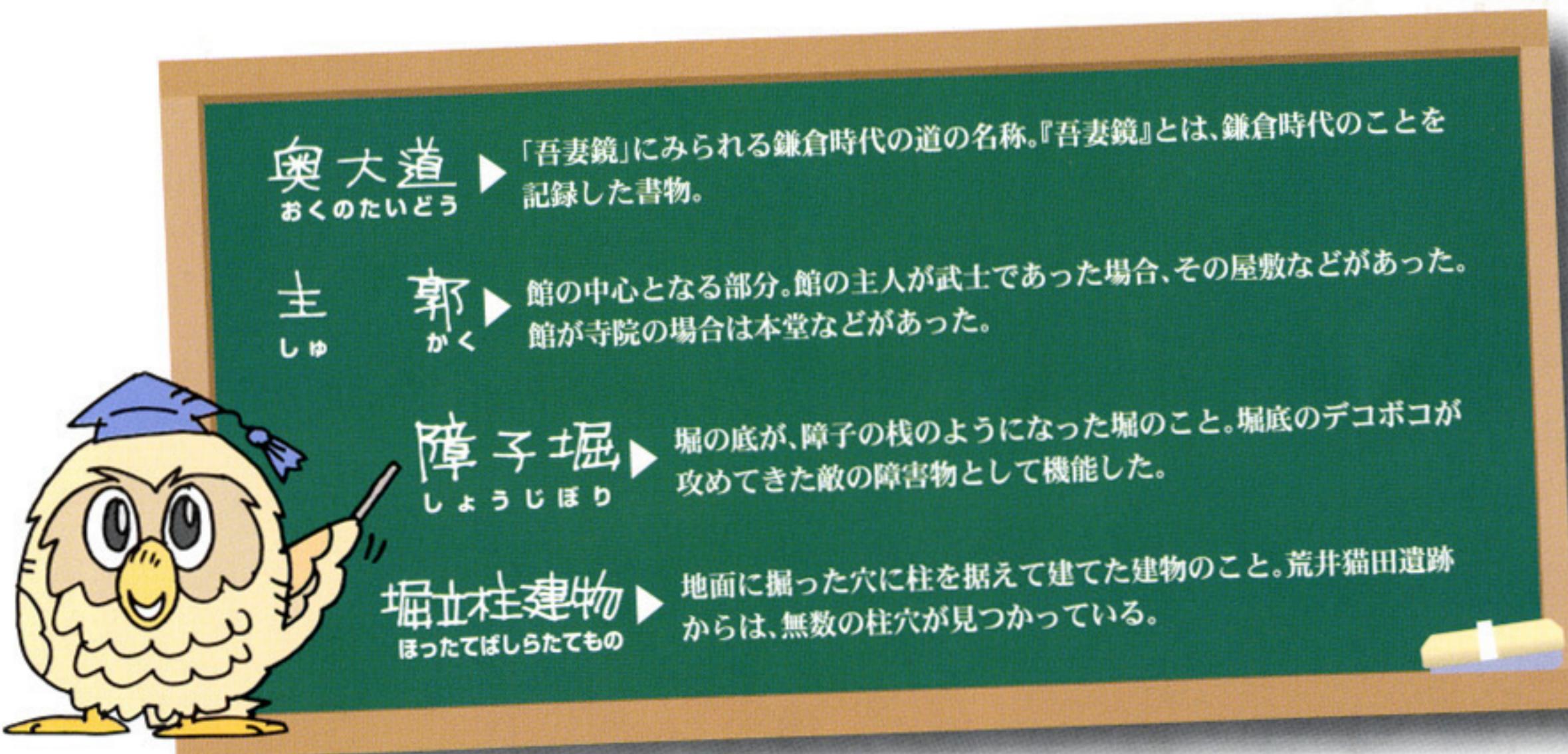
現在調査が進められている館B。主郭はみごとな障子堀で囲まれている。



空から見た障子堀(北より)



主郭への出入り口



空からみた館Aと道・町



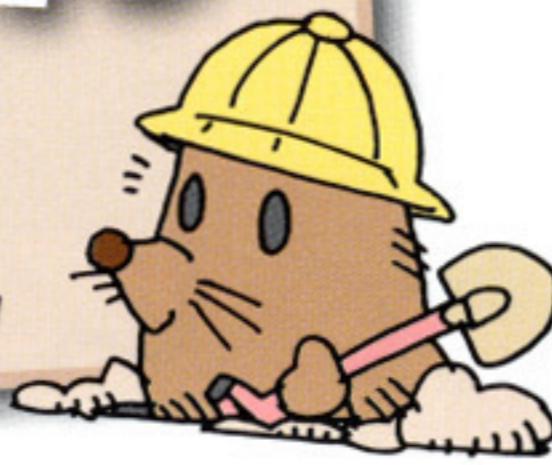
道の交差点でみつかった木戸



町からはたくさんの井戸がみつかった

ましいぶん 掲示板

REPORT & INFORMATION



ただいま発掘調査中です!

あらいねこたいせき

●荒井猫田遺跡〈川向〉



担当 高田 勝

今年で7年目の発掘調査を行っています。現在は鎌倉時代の館Bの主郭部分を調査しています。これまで同様たくさんの柱穴や井戸跡が見つかっています。また、この時期以前の古代の道跡も発見されました。

さくたいせき

●咲田遺跡〈咲田二丁目〉



担当 高松 俊雄

調査箇所は赤木小学校南の台地で、4年前にもその周辺の調査をしています。その折に4,500年前の縄文時代の住居跡が見つかりました。

おおかぶらたてあと

●大鎧館跡〈富久山福原〉



担当 佐久間 正明

戦国時代の館跡です。阿武隈川の西岸にあり、江戸時代の『積達館基考』等によりますと、領主は伊藤内蔵充、あるいは福原式部と書かれています。二の郭と堀跡の調査を行っています。

ここでは紹介しきれない
発掘現場もあるゾ!

●その他、市内数ヶ所予定しています。



クロスポイント Vol.2

■発行・編集／財団法人 郡山市埋蔵文化財発掘調査事業団
〒963-8871 郡山市本町一丁目20番22号
TEL.024-934-8358 FAX.024-938-3030

■発行日／平成14年7月18日



編集部より

郡山市教育委員会では、小・中学生を対象に市内の文化施設を利用して様々な体験学習を行っています。

前号で紹介しました事業団に併設しております「郡山ふるさと考古資料展示室」にも大勢の生徒が訪れています。



↑郡山市立第三中学校



↑郡山市立御代田小学校

○キャラクター・ネーミング募集!

「CROSS POINT」の中でみなさんをご案内するキャラクターの名前を募集しています。



また、発掘調査事業団あてのご意見、ご要望、質問等もどんどんお寄せください。

